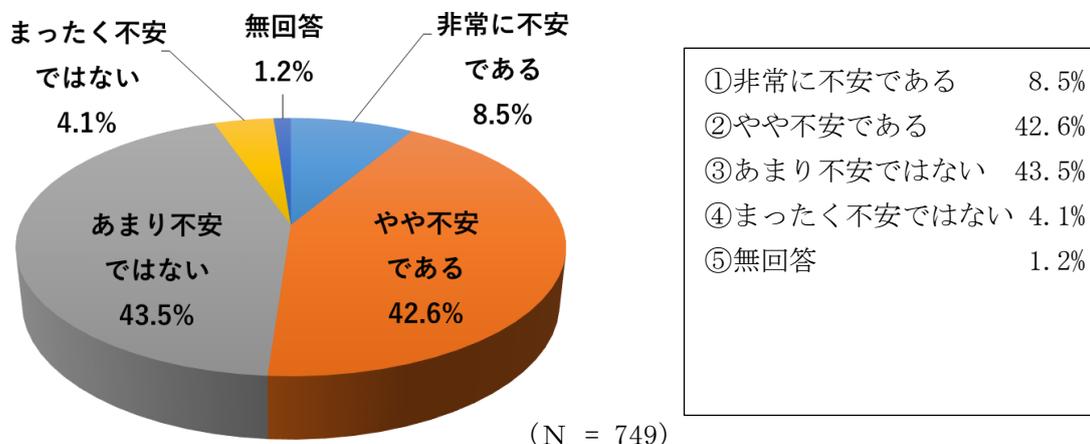


5 調査結果

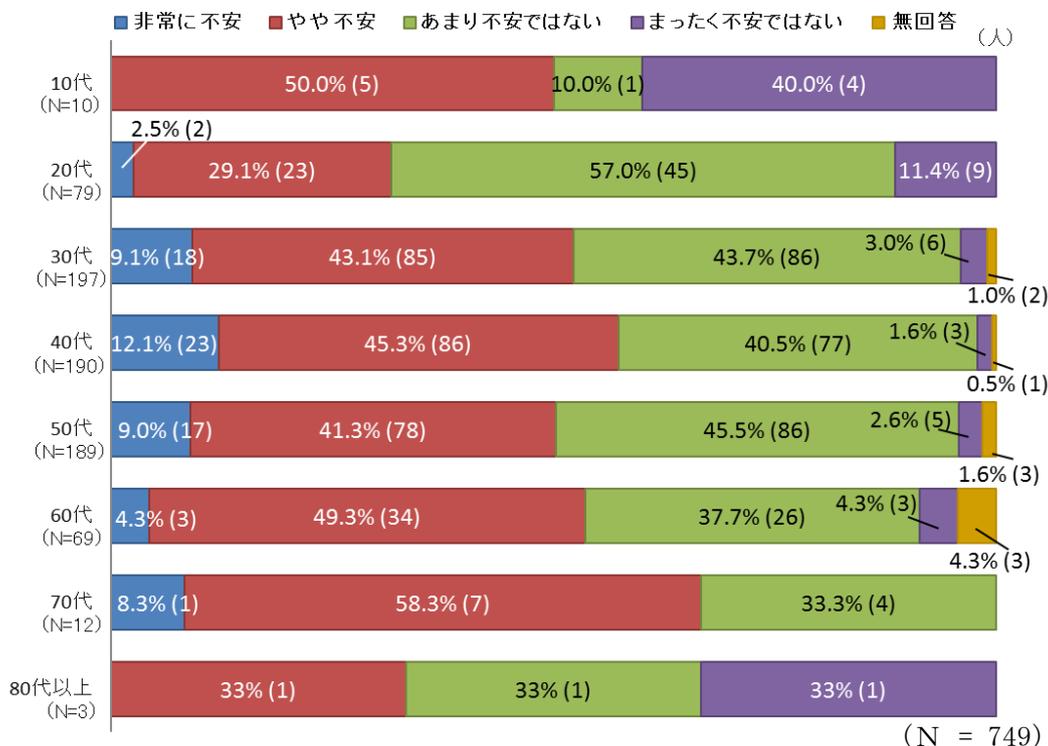
(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問1. 食品の安全性に不安を感じていますか？（1つ選択）



「非常に不安である」と答えた人が 8.5%、「やや不安である」と答えた人が 42.6%となり、2つを合わせると 51.1%の人が「不安である」という結果になりました。なお、前回調査の「非常に不安である」と「やや不安である」を合わせた割合 72.2%と比べると、21.1ポイント減少しています。

年代別不安感



また、「不安である」と答えた人の割合を年代別にみたとところ、

10代：50.0% 20代：31.6% 30代：52.3% 40代：57.4%

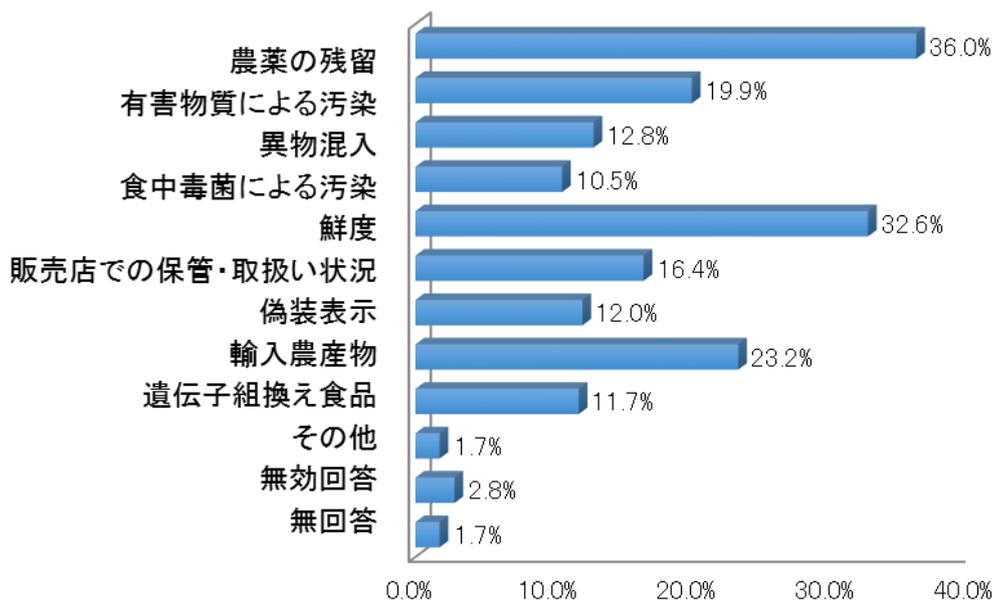
50代：50.3% 60代：53.6% 70代：66.7% 80代以上：33.3%

となり、30代から70代では過半数の方が食の安全性に対して不安感を抱いている結果となりました。

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？

(1) 農産物(生鮮野菜・果物・米など)(2つ以内選択)



(N = 749)

割合が高いものから順に、「農薬の残留」36.0%、「鮮度」32.6%、「輸入農産物」23.2%となっており、「農薬の残留」が前回に引き続き最も高い割合となっています。

今回の特徴としては、前回2位の「輸入農産物」(H30: 30.7%→R3: 23.3%)と前回3位の「鮮度」(H30: 27.3%→R3: 32.6%)の順位が逆転したことが挙げられます。

○「その他」の主な記述内容

《その他「特に不安を感じているもの」として挙げられたもの》

- ・複数の農薬による汚染(複合汚染については、安全基準が設定できない)
- ・農薬、化学肥料による自身、後世、農業従事者の健康及び環境への影響
- ・輸入農産物の残留農薬
- ・ゲノム編集技術応用食品の流通
- ・放射性物質による汚染

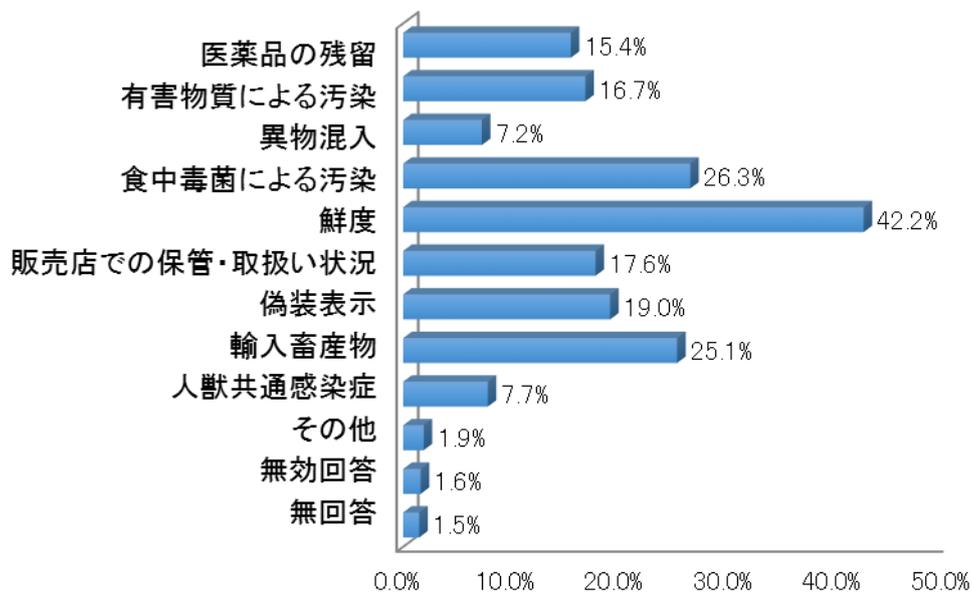
《その他の意見》

- ・有機栽培(オーガニック)の農産物を買えるようにしてほしい

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？

(2) 畜産物(肉類・卵など)を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？(2つ以内選択)



(N = 749)

割合が高いものから順に、「鮮度」42.2%、「食中毒菌による汚染」26.3%、「輸入畜産物」25.1%となっており、「鮮度」が前回に引き続き最も高い割合となっています。

今回の特徴としては、前回の調査で割合が高かった「輸入畜産物」(H30: 30.1%→R3: 25.1%)、の割合が減少した一方で、「食中毒菌による汚染」(H30: 18.1%→R3: 26.3%)の割合が増加しました。

○「その他」の主な記述内容

《その他「特に不安を感じているもの」として挙げられたもの》

- ・ 遺伝子組換え作物、農薬、抗生物質、ホルモン剤、医薬品を使用した飼料を与えていないか
- ・ 前記のような化学物質が畜産動物の糞尿中へ排泄されることによる環境への影響
- ・ 不健康な環境で飼育された畜産物を食べること

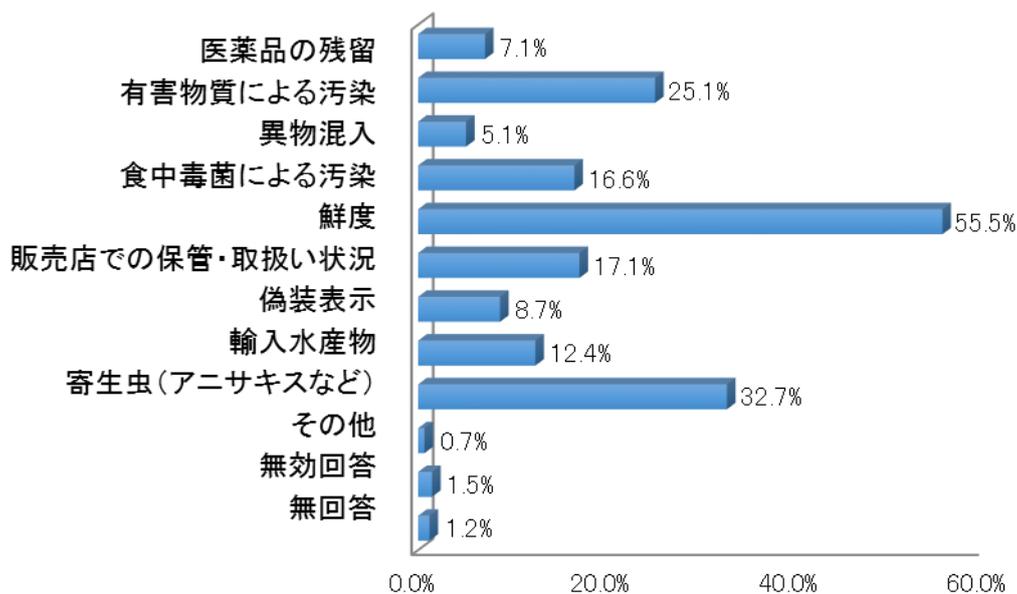
《その他の意見》

- ・ 詳細に産地(飼育場所)を明記してほしい
- ・ 畜産動物に与えている飼料、飼育環境の詳細を知りたい
- ・ 畜産動物を、動物福祉に配慮し、自然に近い環境で、健康的に飼育してほしい

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？

(3) 水産物(鮮魚介類など)を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？(2つ以内選択)



(N = 749)

割合が高いものから順に、「鮮度」55.5%、「寄生虫(アニサキスなど)」32.7%、「有害物質による汚染」25.1%となっており、前回の調査結果と同様に「鮮度」、「寄生虫(アニサキスなど)」が高い割合となりました。

今回の特徴としては、前回の調査結果で3位であった「輸入水産物」(H30: 21.6%→R3: 12.4%)の割合が減少する一方、「有害物質による汚染」(H30: 16.4%→R3: 25.1%)の割合が増加しました。

○「その他」の主な記述内容

《その他「特に不安を感じているもの」として挙げられたもの》

- ・プラスチックや原発処理水等による海洋汚染、生物濃縮
- ・大量捕獲による、水産資源の減少
- ・養殖魚に抗生物質、ホルモン剤を使用した飼料を与えていないか
- ・遺伝子組換え水産物

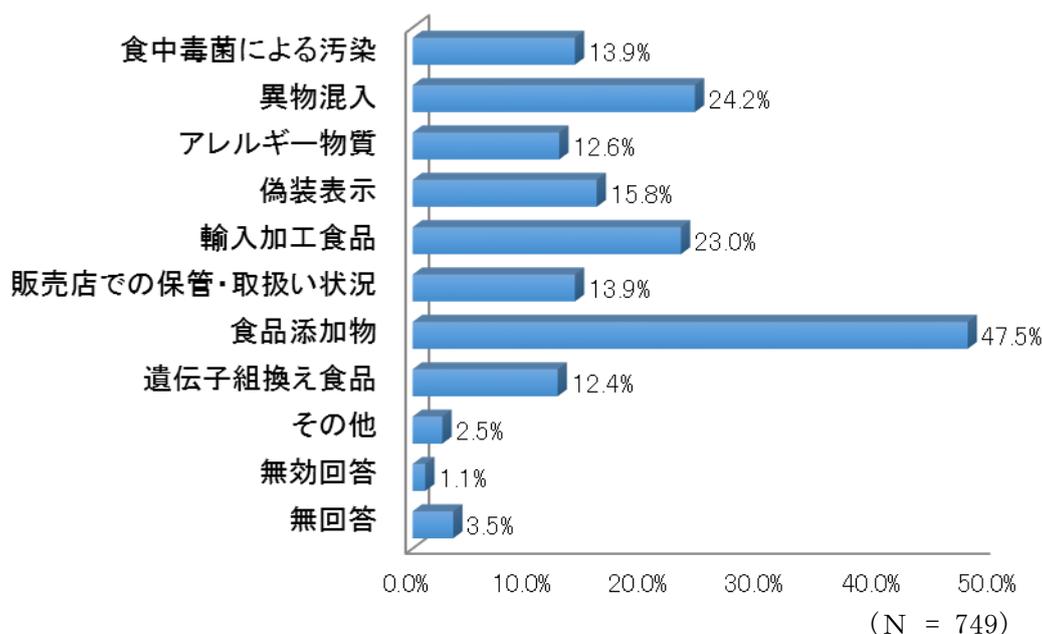
《その他の意見》

- ・水産物について水揚げ場所だけでなく、漁獲した漁場も知りたい

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？

(4) 上記以外の加工食品(菓子・清涼飲料・漬物・麺類・ハム・乳製品・水産加工品など)を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？(2つ以内選択)



割合が高いものから順に、「食品添加物」47.5%、「異物混入」24.2%、「輸入加工食品」23.0%となりましたが、なかでも「食品添加物」は前回の調査結果と同様に他と比較して特に高い割合となりました。

今回の特徴としては、「アレルギー物質」(H30: 20.1%→R3: 12.6%)、「偽装表示」(H30: 20.8%→R3: 15.8%)の割合が減少する一方、「異物混入」(H30: 16.2%→R3: 24.2%)の割合が増加しました。

○「その他」の主な記述内容

《その他「特に不安を感じているもの」として挙げられたもの》

- ・食品添加物による健康影響
- ・カロリー、塩分、糖分の過剰摂取
- ・過去にあったような期限表示の改ざんがないか
- ・適正に衛生管理された製造所で製造されているか

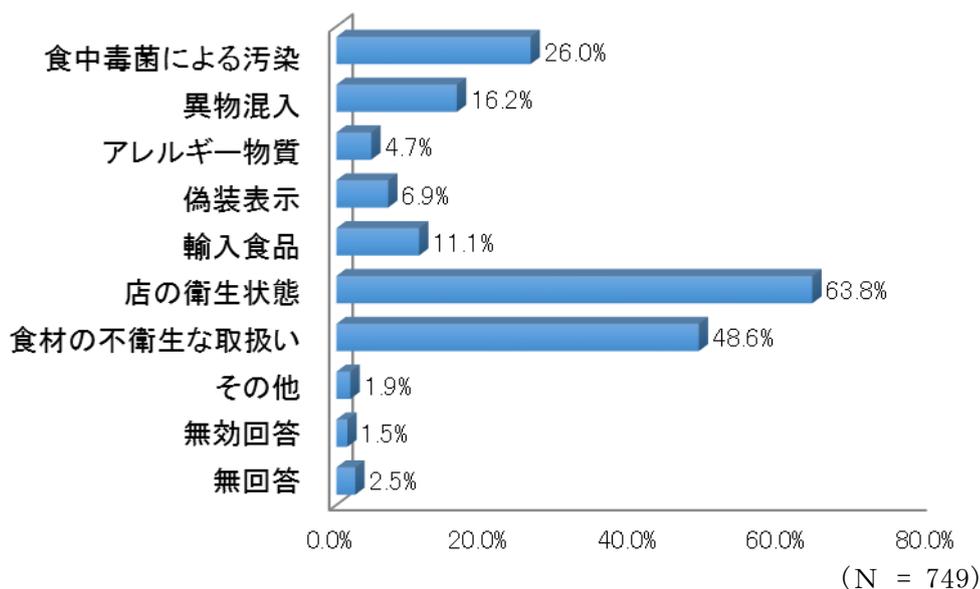
《その他の意見》

- ・賞味期限について、なぜ長く日持ちするのか。その設定方法がわからない。

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？

(5) 飲食店等の外食で提供される食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？(2つ以内選択)



割合が高いものから順に、「店の衛生状態」63.8%、「食材の不衛生な取扱い」48.6%、「食中毒菌による汚染」26.0%となっており、前回の調査結果（順に53.8%、37.2%、33.4%）と同様にこの3項目が他と比較して特に高い割合となりました。

○「その他」の主な記述内容

《その他「特に不安を感じているもの」として挙げられたもの》

- ・原材料に食品添加物、遺伝子組換え食品、ゲノム編集技術応用食品を使用していないか
- ・原材料の残留農薬
- ・原材料の産地
- ・使われている油（トランス脂肪酸など）
- ・カロリー、塩分、油分の過剰摂取

《その他の意見》

- ・メニュー等へ産地、アレルギー等の表示をしてほしい
- ・可能な限り国産、地元産の食材を取り扱う店舗を選んでいる
- ・原材料の情報が不明なので外食しない